

宮城いきいき便り

活動が健康と元気の源

宮城いきいき学園
気仙沼・本吉校同窓会

会長 岩淵 洋さん(67)
副会長 齋藤 武さん(68)
庶務 和賀健一さん(69)



左から岩淵さん、齋藤さん、和賀さん

3人は今年4月、宮城いきいき学園気仙沼・本吉校同窓会の役員に就任し、運営に奔走する。同窓会は年間事業として、気仙沼市緑化推進協議会が主催する国道45号気仙沼バイパスの「花のみち45」花壇植栽活動に参加。国道を通るドライバーの目と心を和ませている。活動の実績が認められ、2012年5月に全日本花いっぱい連盟会長から感謝状を頂いた。気仙沼市花いっぱいコンクールに毎年参加し、昨年10月には市長から努力賞を受賞した。「地域での奉仕活動は長く続けることが大事。きたい」と力強く語った。

そのためには同窓会がうまく機能し、会員が健康であることが一番と3人は口をそろえる。卒業年次ごとの地域活動も活発だ。フラダンスや童謡、創作和太鼓や大正琴サークルによる高齢者施設訪問をはじめ、市内小・中学校での手話学習指導などを行っている。施設訪問では利用者と一緒に踊ることも。自分たちの楽しみが地域の方々のためになることにつながり、自分たちの生きがいにもなる。



気仙沼バイパス沿いの花壇植栽に励む同窓会員

9月30日、10月9・14・21日

いきいき学園文化祭

宮城いきいき学園の栗原の5校でそれぞれ文化祭が9月から10月にかけて、仙南、大崎、石巻、気仙沼・本吉、登米、



昨年の大崎校文化祭で歌声を響かせる民謡クラブのメンバー

れ、在校生が日頃の活動の成果を披露する。各校の開催日時と会場は次の通り(開催日時順)。

- ▽仙南校 9月30日(出)
- 10・30、岩沼市民会館
- ▽気仙沼・本吉校 10月9日(祝) 9・30、気仙沼市はまなすの館(気仙沼市本吉町)
- ▽石巻校 10月14日(出) 9・45、東松島市コミュニティセンター
- ▽大崎校 10月14日(出) 10・30、バレットおおさき(大崎市古川)
- ▽登米・栗原校 10月21日(土) 11・00、栗原市若柳総合文化センター

宮崎探訪研修 楽しむ

寄稿 宮城いきいき学園大崎校18期会

沖田捷夫さん(72) =美里町=

開きました。まずは陶芸の里の切込焼記念館を見学。切込焼の歴史と作品を学び、作陶を体験しまし

宮城いきいき学園大崎校18期会は5月30日、会員24人で加美町宮崎地区の知られざる魅力を探す「初夏探訪会」を行った。2班に分かれ、2人の先生の指導の下、会員それぞれが目指すマグカップや皿、井茶碗、花瓶などの下地作りにはわいわいしながら奮闘。最後に先生に仕上げをしていただき、これが自分の作品かと感心する出来栄となりました。

その後、ゆるらんどで食事休憩し、研修の舞台は二ツ石ダムに移りました。県職員の方からダムの着工や役割について説明を受けました。ダムは1991年度に着工し、2009年度に完成したロックフィルダム。その役割は大崎地方の農業用水の確保で、完成により水不足が解消し、農業発展に大きく役立つというそつです。ダムを後にして食彩



作陶を体験する大崎校18期会のメンバー

今回の探訪会と同様の取り組みとして2カ月に一度、介護の話を聞いたり健康体操を楽しんだりするほか、身近な旧街道の講演を聞くなどもしています。ハンドベル、大正琴の演奏やマジックなどを施設で披露するボランティア活動も行っています。